

経営健全化方針に基づく取組状況（令和5年度）

○法人名：味ロジ株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

債務超過額が806,014円発生したため、策定したもの。

○財政的リスクの状況

（単位：千円）

	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額	806	△3,218	△3,354	△3,381	2,181	5,111	△4,000

○経営状況

- ・凍霜害により果樹収量が減少、原材料不足となり主力商品の製造が減産された。
- ・ギフト受注や顧客への販売が低迷する中で経費等削減しているが、物価及びエネルギー価格高騰等の経費が圧迫し影響を受けている。
- ・債務超過が続き回復の見通しが厳しい状況であるが、黒字転換を目指し改善を図る。

○主な取組状況（令和5年3月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・作業工程及び製造計画を見直し、複数部門を連携させ業務改善と効率化を進めた。
- ・キャッシュフローをシュミレーションし改善点を考察した。
- ・変動物価等高騰により原価計算を精査し、商品単価を改定した。
- ・特産品農産物を用いて、新商品の開発を行った。
- ・販売店舗内のレイアウトを変更し農産物など季節商品の販売を強化、また食堂の洋食メニューを開発し集客アップに努めた。
- ・新たにワッサー・ネクタリンの一次加工処理受託を開始した。

【町による財政的リスクへの対処のための対応】

- ・計画実績管理の徹底など積極的に関与する中で、経営会議を開催し助言等を行った。
- ・毎月当該法人の部門別事業状況を把握し分析、赤字部門について事業継続や手法、改善策を関係部署と検討した。
- ・施設備品の更新及び商品のPRや販売を支援した。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(単位：円)

	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算
資産総額	12,823,953	10,211,345	7,582,885
（うち現預金）	5,241,596	4,189,116	2,451,345
（うち売掛金）	609,568	282,266	632,866
（うち商品）	4,038,202	2,645,760	1,671,759
負債総額	9,442,121	12,392,926	12,694,681
（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0	0
純資産額	3,381,832	△ 2,181,581	△ 5,111,796

(損益計算書から)

(単位：円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上高	28,587,717	24,082,197	29,728,474
営業費用	31,322,005	30,196,068	33,372,313
営業外収益	2,885,025	709,608	869,034
営業外費用	123,617	159,150	155,410
当期純利益	27,120	△ 5,563,413	△ 2,930,215